

(2016年7月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

<ポイント>

【政治】

●プリヴェール（暫定）大統領が10月9日に予定される大統領選挙等実施に係る大統領令に署名を行った。（19日）

●ラレシュ（Ronald LARECHE）上院議員が上院議長に選出された。（20日）

【経済・社会】

●バスティアン（Yves Romain BASTIEN）経済・財政大臣が2016－17会計年度予算案を上院に提出。（29日）

●6月インフレ率、前年同月比＋13.9%。

1 政治（内政、外交）

- 2日 6月30日から3日にかけてハイチを訪問し、主要政治家、政府関係者と会談を行ったラドスース（Herve LADSOUS）国連平和維持活動担当事務次長（PKO局長）が記者会見を開き、10月の選挙日程及び2017年2月の共和国大統領の就任を遵守すべきと強調した。
- 8日 米国が選挙資金支援の取りやめを発表し、他ドナー国も選挙への資金援助を発表していない中、プリヴェール（暫定）大統領は、国際社会からの資金協力なしで選挙を実施するとの見解を示した。
- 12日 ファドゥル（Jose Ramon FADUL）ドミニカ共和国（注：前）内務警察大臣は、同国在住のハイチ系移民のうち、外国人合法化国家計画本部（PNRE）への登録手続きを終えていない13万人に対し、1年間の登録期間延長の措置を取ることを発表した。／会計・行政訴訟高等裁判所（CSCCA）は米州開発銀行と共同で、同裁判所をより独立した組織にし、会計監査システムや行政訴訟の停滞を改善するための2016－2024行動計画が提出された。実施に必要な予算8.3百万ドルの40%を上限に国家予算から支出される。
- 15日 臨時選挙管理委員会（CEP）は新集計センター（CTV）長にシェリルス（Robenson CHERILUS）氏を任命した。
- 19日 プリヴェール（Jocelerme PRIVERT）（暫定）大統領は閣議を開き、10月9日に予定されている大統領選挙及び議会選挙を実施する旨の大統領令へ署名を行った。／上院議員選挙において、10名の議席のうち候補者は149名、うち女性は13候補となった。同比率は2011年修正憲法で規定されている女性への配分率30%を大幅に下回るもの。
- 20日 ラレシュ（Ronald LARECHE）上院議員が賛成16票、反対0票、棄権1票で上院議長に選出された。
- 29日 バスティアン（Yves Romain BASTIEN）経済・財政大臣が2016－17会計年度予算案を上院に提出。同会計年度では選挙に重点が置かれている。ラレシュ議長は、8月2日に開かれる予定の上院議会で同法案について審議するとしているが、憲法第111条第2項に従い、予算案について上院は下院の承認を待たなければならない。／プリヴェール（暫定）大統領は、3月19日の崩落後4か月

をかけ修復された新線（9号線）橋梁の開通式を行った。

2 経済・社会

- 11日 プリヴェール（暫定）大統領、ジャン・シャルル（Enex JEAN-CHARLES）首相のほか、外務大臣、経済・財政大臣、計画大臣・対外協力大臣及び駐ハイチ・ベネズエラ大使出席の下、ペトロカリベの協力についての協議が行われた。プリヴェール（暫定）大統領は状況改善のため、対象案件について確認を行うとの認識を示した。
- 12日 投資促進センター（CFI）は、2016年の海外からの直接投資が昨年比20%減となったと発表した。パウエル（Norma PAWEL）CFI長は、同原因の一つとして投資法の曖昧さを指摘し、14年前に制定された同法の改正が必要であると述べた。
- 18日 保健・人口省は、ここ数か月のコレラ感染の拡大に懸念を示している。7月1日から16日で既に977件の新たな感染が確認されており、特に西県と中央県が最も脅威度の高い「赤」分類となっている。
- 19日 世銀の報告によれば、国家予算からの保健セクターへの支出は全体の5%に留まる。この数字は2012年に策定された国家保健政策での15%を下回るもの。
- 6月インフレ率、前年同月比+13.9%。

3 文化・その他

- 14日 フランスで活躍しているハイチ人や両国の親善に貢献した人物に贈られる第3回「(在仏ハイチ)大使館賞」が、今年は音楽家や企業家等8名に授与された。